

東京スポーツ杯争奪戦

TIPSTAR杯



12/22(日) 23(月) 24(火)



川崎スポーツ

レース展望

12月22日から始まる川崎ナイターは東京スポーツ杯争奪戦・TIPSTAR杯として行われるFI開催。S級・A級ともに全国各地から好選手が集まり、激しい戦いが予想され、ガールズケイリンも行われる。

S級戦のシリーズリーダーは地元松井宏佑(113期)。小倉競輪祭では勝ち上がりしに失敗したものの、残り3走を全て最終バックを取り切って212と成績をまとめて、今開催もそのパワフルな先行力を十分に発揮するだろう。近況はマーク戦も増えている先輩松坂洋平(89期)とワンツーを目指すはず。北日本には守澤太志(秋田96期)・大槻

寛徳(宮城85期)と自在脚を備えている女人好みのマーク型が揃った。直線でのキメ脚はもちろん、いざとなれば自力発動出来るのが強味で3連単では外せない。遠征勢では今年完全本格化した感のある福永大智(大阪113期)の機動力、しっかり好位を取り切って得意の捲り発進を見せる佐々木豪(愛媛109期)とアタマから狙って面白い選手が揃い、柴崎淳(三重91期)や柏野智典(岡山88期)らと好連係を決める場面に期待する。

A級戦は脚力的に差が無く混戦模様だが、若手徹底先行の浮島知稀(群馬123

期)・常次勇人(大阪121期)がレースを引っ張り、上原龍(長野95期)・野口正則(奈良105期)のマーク陣がゴール前の逆転を狙うはず。地元川口直人(84期)も目標次第で好勝負に持ち込める脚力は維持している。

ガールズは地元佐藤水菜(114期)が断トツの存在で、今年の世界選手権ケイリン金メダル・小倉女子王座戦GI完全Vの実力からして3連勝は曲がらない。次の静岡グランプリに向けて良い弾みをつけるだろう。相手筆頭は機動パワーある日野未来(奈良114期)となり、上手く2着を確保しそうだ。

地元松井中心だが別線も好勝負必至

S級
主力選手



守澤 太志 秋田 96期

今年1年はトップクラスとの戦いに苦戦した感はあるが、言い訳をしない姿勢は好感が持てる。今節はFI開催だけに脚力負けする事はない。それならタテにもヨコにも十分に仕事が出来るとみた。北の目標が無ければ、地元勢との関係も考えられ中心に推せる。

S級
主力選手



松井 宏佑 神奈川 113期

タイトルまであと一歩のところまで来ている神奈川の中心選手。番手を回る事もたまにあるが、やはりこの選手の持ち味は鋭い踏出しを生かした自力になるだろう。今節は今年最後の地元戦。FIと言えども、好成績を残して締めたいはず。初日から全力で飛ばす。

S級
主力選手



福永 大智 大阪 113期

古性を筆頭に勢力拡大している大阪勢の中の一人。スピードを生かした機動力が持ち味だったが、近況は自在性も増し戦法が広がっている。今節で地元の松井を苦しめる可能性の有る選手だけに、好メンバーが揃った中でどんな戦いを見せてくれるかが楽しみだ。

A級
注目選手

浮島知稀 群馬 123期



勝ちに徹すればもっと点数を上げる事が出来そうだが、スケールの大きな走りがこの選手の身上。S級に上がるまでは力でねじ伏せたいと言わんばかりの積極性が見て取れる。今回は遠征勢に強力な先行型が揃っているだけに、東の代表としての役割を担っている。

ガールズ
注目選手

佐藤水菜 神奈川 114期

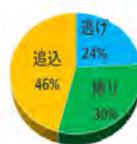


今年オリンピック出場に世界選金メダルと大忙しの一年。他の選手に水を空けるガールズの第一人者に上り詰めた。女子王座戦で優勝し、暮れのGPにはもちろん出場。ここ川崎をホームバンクとしており、今開催は静岡に向けての最終調整も兼ねているだろう。

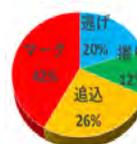
川崎競輪場バンクガイド (2023年10~12月データ)

1年の改修工事を経て、昨年10月からリニューアルした川崎バンク。12月まで363レース(ガールズを含む)を終えた段階の1・2着の決まり手データは表の通り。基本的に構造は旧バンクを踏襲したもので、逃げ・捲り・差し・マークについて、それぞれのパーセンテージは以前と変わりはない。ただし1着に限って言えば、逃げ・捲りの決まり手が54%と過半数越えて、自力型のアタマから組み立ていく車券戦術が可能だろう。川崎名物イエローライン付近の強襲コースは、バンク改修により最終4コーナー走路をスムーズに戻ってくるようになり、前団選手の失速が少なくなったため、今のところは出現率がそれほど高くない印象だ。

1着決まり手



2着決まり手



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル